

科 目 名	生徒・進路指導論				
配 当 学 年	2 年	必修・選択	必修	CAP制	対象外
授 業 の 種 類	講義	単 位 数	2 単 位	授業回数	15
授 業 担 当 者	五浦 哲也（非常勤講師）		単位認定責任者	五浦 哲也	
実務経験の有無	無				
実務経験のある教員名および授業の関連内容	-				
授業科目の概要	生徒指導の意義を理解し、いじめ、不登校、暴力行為、喫煙、薬物乱用、万引き、学級崩壊、インターネット等の生徒指導諸問題に対し児童生徒理解を中心に自己指導能力の育成を目指し指導計画に基づき組織的に校内外連携の理解や体罰防止、生徒懲戒等の法的理解や進路指導及びキャリア教育に関する知識・技能を身に付けることを目指し講義を行う。				
授業科目の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 生徒指導の理念や意義と学校における全教育活動における計画やチームとしての学校の視点から校内外連携の重要性について理解し説明できる。 2. 生徒指導の原理や方法に基づいた生徒指導対応の基本を身に付けることができる。 3. 生徒指導と教育相談・進路指導やキャリア教育の意義の理解と課題について説明できる。 4. 生徒指導諸問題の解決方策について本講義等の知識・理解を踏まえ、児童生徒理解に基づき主体的に考え、判断し、説明することができる。 				
学修成果評価項目（%）および評価方法	項目	割合	評価方法		
	基礎学力	%			
	専門知識	80 %	毎回のWORK、試験、レポート		
	倫理観	5 %	毎回のWORK		
	主体性	5 %	毎回のWORK、演習への参加状況		
	論理性	%			
	国際感覚	%			
	協調性	5 %	毎回のWORK、演習への参加状況		
	創造力	%			
責任感	5 %	毎回のWORK、演習への参加状況			
授業の展開					
1.	ガイダンス、第1章 生徒指導の基本				
2.	第2章 児童生徒理解				
3.	第3章 教師の姿				
4.	第4章 生徒指導体制				
5.	第5章 教育相談				
6.	第6章 子どもに自立を促す生徒指導の手法①				
7.	第6章 子どもに自立を促す生徒指導の手法②				
8.	第7章 生徒懲戒と体罰、出席停止				
9.	第8章 少年非行				
10.	第9章 いじめ				
11.	第10章 不登校				
12.	第11章 学級経営と授業				
13.	第12章 多様な子どもたち				
14.	第13章 キャリア教育①				
15.	第13章 キャリア教育② 第14章 危機管理				

授業外学修について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次回の講義内容についてテキストを通読し、キーワードの理解や概要を把握しておく ・ 各回の授業後に学習事項をノートに整理して復習を行う 				
教科書	『四訂版 入門生徒指導「持続可能な生徒指導への転換」(片山紀子) 学事出版』				
参考文献	「生徒指導提要」(PDF版 http://www.akita-c.ed.jp/~cjid/teiyou.htm)				
試験等の実施	定期試験	その他のテスト	課題・レポート	発表・プレゼンテーション	取組状況等
	○	○	○	×	○
成績評価の割合	40 %	10 %	30 %	0 %	20 %
成績評価の基準	本学の評価基準に基づき、成績評価を行う。 秀(100~90点)、優(89~80点)、良(79~70点)、可(69点~60点)、不可(59点~0点)				
試験等の実施、成績評価の基準に関する補足事項	「その他のテスト」・・・講義内容の小テスト(確認テスト) 「取組状況等」・・・各回の授業時における演習や課題解決学習の取組状況				

(生徒・進路指導論)